

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 6年 5月31日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県野洲市富波甲972番地  
  
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
生活協同組合コープしが  
代表理事 理事長 白石 一夫

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・  
第46条第1項・ 第46条第2項において読み替えて準用  
第45条第1項  
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

~~第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~  
~~する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)  
自動車管理報告書 を作成

 しましたので、提出します。

1 事業者に関する事項

|                                 |                          |                   |  |
|---------------------------------|--------------------------|-------------------|--|
| 事業者の氏名<br>(法人にあっては、名称および代表者の氏名) | 生活協同組合コープしが代表理事理事長 白石 一夫 |                   |  |
| 事業者の住所<br>(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  | 滋賀県野洲市富波甲972番地           |                   |  |
| 県内事業所数                          | 15                       | 事業所               |  |
| 県内自動車使用台数                       | 371                      | 台                 |  |
| 自動車の使用に伴う<br>温室効果ガス排出量          | 1170.008363              | t-CO <sub>2</sub> |  |

2 計画期間(および報告対象年度)

|        |      |   |    |      |   |    |
|--------|------|---|----|------|---|----|
| 計画期間   | 開始年度 | 5 | 年度 | 終了年度 | 7 | 年度 |
| 報告対象年度 | 5 年度 |   |    |      |   |    |

3 計画(内容・実施状況)

|                  |        |
|------------------|--------|
| 計画の<br>(内容・実施状況) | 別添のとおり |
|------------------|--------|

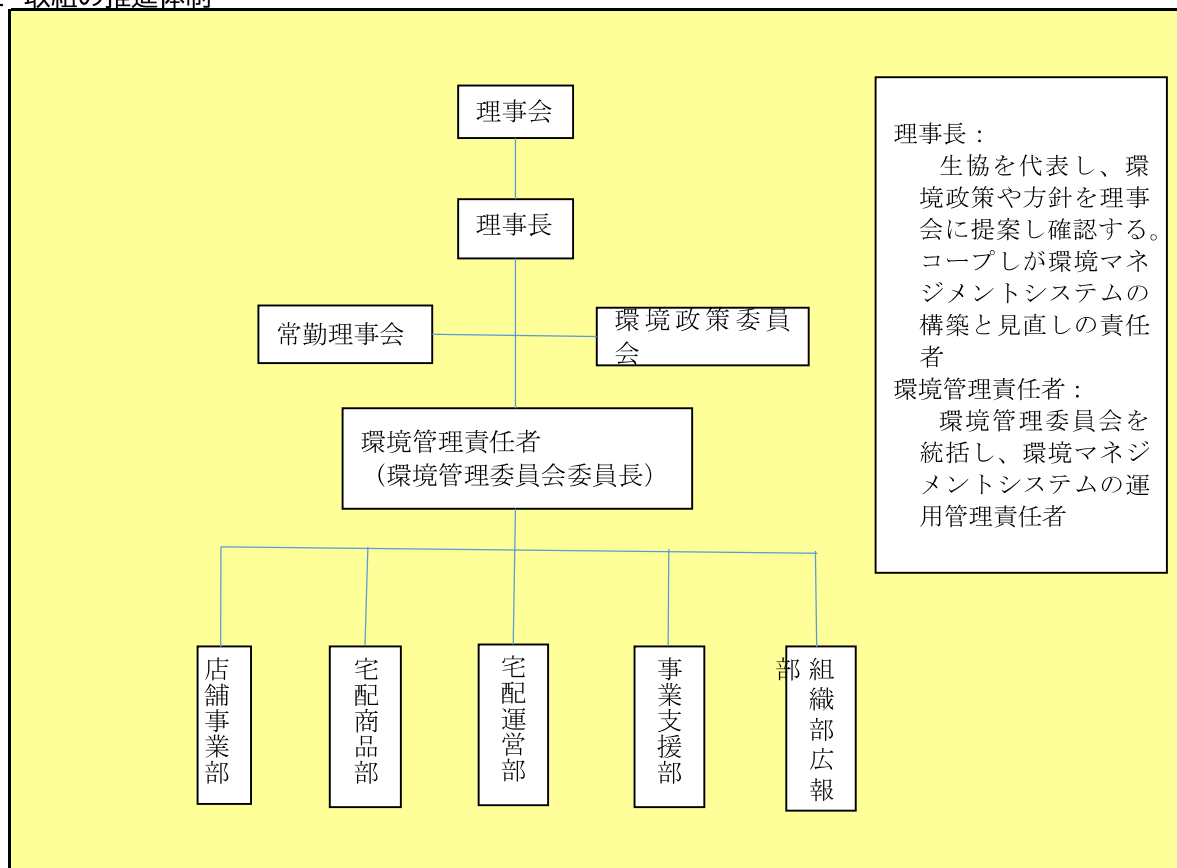
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

## 1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

コープしがはCO<sub>2</sub>を吸収する大切な森林を保全、整備して守っていくために、琵琶湖森林づくりパートナー協定を油日上野生産森林組合と締結して、コープの森での森林整備活動を続けています。その活動からのCO<sub>2</sub>吸収量の認定を滋賀県森林CO<sub>2</sub>吸収量認証制度を利用して数値化しています。また、弊組合の組合員とともにCO<sub>2</sub>削減ライトダウンキャンペーンに取り組み、CO<sub>2</sub>排出を抑制する意識向上にも努めています。事業活動においても太陽光発電の積極的な設置を進めています。自動車についてはPHVやハイブリッド車両の導入の推進とEV車両の導入を検討しています。職員の運転についてもアイドリングストップやふんわり発信などの教育を適時行っており、車両から出るCO<sub>2</sub>の抑制に努めています。

また、これらの管理は、環境マネジメントシステムにより数値の月次での把握、要因分析、改善指導を行っています。これらの取組みについて、毎年、取組の結果を組合員広報誌にまとめて公表しています。

## 2 取組の推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

## (第2面)

## 3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

| 項目                              | 取組の内容                                      | 目標達成確認指標         |                         |                      |                            | 実施結果                                                                                            |
|---------------------------------|--------------------------------------------|------------------|-------------------------|----------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                 |                                            |                  | 現状                      | 目標                   | CO <sub>2</sub> 排出量削減目標(%) |                                                                                                 |
| 自動車使用の合理化                       | ①ガソリンの燃料使用量の目標を策定し合理的な車両使用を推進する            | ①ガソリン使用量実績       | ①ガソリン年間使用量<br>73,500ℓ   | ①ガソリン年間使用量<br>前年実績維持 |                            | 2022年度実績75,000ℓ目標を下回った。コロナ禍の収束と共に宅配事業の配達先が減少したのが要因となる。                                          |
|                                 | ②車両管理手順を定め、全車両の走行距離と燃料使用量を管理する             | ②車両管理記録の提出率      | ②100%                   | ②前年実績維持              |                            | 全車両のデータは月次で継続的に管理できている。<br>提出率100%                                                              |
| より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入           | BDF5%燃料の使用を継続する                            | BDF車両の台数         | 92台<br>給油量:<br>167,654ℓ | 前年実績維持               |                            | 2022年度実績173,529ℓ目標を下回った。コロナ禍の収束と共に宅配事業の配達先が減少したのが要因となる。                                         |
|                                 |                                            |                  |                         |                      |                            |                                                                                                 |
| 次世代自動車等の比率を増やす取組                | EV車両の導入をすすめた                               |                  | 2台導入                    | 適時導入を進める             |                            | EV軽自動車の2台導入した。今後も適時導入を進める。                                                                      |
| 従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育 | ①アイドリングストップの推進                             | ①環境教育記録による教育の実施率 | ①教育実施率100%              | ①実績維持                |                            | 毎年5月に全職員を対象に環境教育を実施し、記録を保持している。また、10月にエコドライブなどの実施状況を自己チェックして注意喚起している<br>教育実施率100%<br>看板の設置率100% |
|                                 | ②駐車場でのアイドリングストップの啓発表示板の設置                  | ②設置率             | ②設置率100%                | ②実績維持                |                            |                                                                                                 |
| その他の取組                          | ①環境マネジメント自己チェックシートによる自己評価チェックと不適合者への再教育の実施 | ①再教育の実施率         | ①再教育の実施率100%            | ①実績維持                |                            | 毎年5月に全職員を対象に環境教育を実施し、記録を保持している。また、10月にエコドライブなどの実施状況を自己チェックして注意喚起している                            |
|                                 |                                            |                  |                         | 合計                   |                            |                                                                                                 |

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。